座標: 北緯34度38分59秒 東経135度6分42.5秒

ウィキペディア

須磨寺

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

須磨寺（すまでら）は、兵庫県神戸市須磨区須磨寺町にある仏教寺院。真言宗須磨寺派大本山。山号は上野山（じょうやさん）。本尊は聖観音である。宗教法人としての正式名称は**福祥寺**。

目次

概要

伽藍

塔頭

文化財

札所

周辺情報

所在地

交通アクセス

備考

脚注

関連項目

外部リンク

概要

「須磨寺略歴縁起」によると平安時代の初め、漁師が和田岬の沖で聖観音像を引き上げた。その聖観音像を安置するために淳和天皇の勅命によって恵偈山北峰寺が建立された。そして仁和2年（886年）に光孝天皇の勅命によって聞鏡上人が上野山福祥寺を建立し、北峰寺よりその本尊である聖観世音菩薩像を遷して福祥寺の本尊としたのが始まりとされている[1]。しかし、「当山歴代」（県指定文化財）によれば、本尊聖観世音は嘉応元年（1169年）に源頼政が安置したとする。

須磨寺

本堂

所在地	兵庫県神戸市須磨区須磨寺町4-6-8
位置	北緯34度38分59秒 東経135度6分42.5秒
山号	上野山
院号	不明
宗旨	古義真言宗
宗派	真言宗須磨寺派
寺格	大本山
本尊	聖観音
創建年	仁和2年（886年）
開基	聞鏡、光孝天皇（勅願）
正式名	上野山福祥寺
札所等	真言宗十八本山第2番 新西国三十三箇所第24番 摂津国八十八箇所第88番 摂津国三十三箇所第7番 福原西国三十三箇所第7番 神戸十三仏霊場第11番 神戸七福神（福禄寿尊） 神戸六地蔵客番 神仏霊場巡拝の道第72番 役行者霊蹟札所
文化財	木造十一面観音立像、絹本著色普賢十羅刹女像、本堂内宮殿及仏壇（重要文化財） 不動明王立像、石造十三重塔、当

平敦盛遺愛の「青葉の笛」や弁慶の鐘、敦盛首塚、義経腰掛の松など、多数の重宝や史跡が存在する[1]。源平を偲んで訪れる文人も多く、境内には正岡子規・松尾芭蕉句碑がある[1]。

山歴代古記録2巻（兵庫県文化財）

法人番号 1140005000798 (https://www.houjin-bangou.nta.go.jp/henkorireki-johoto.html?selHouzinNo=1140005000798)

伽藍

- 本堂 - 慶長7年（1602年）に豊臣秀頼が再建（建築奉行は片桐且元）。
- 護摩堂 - 1903年（明治36年）に再建
- 大師堂
- 八角堂 - 経木供養所を建て替え。2017年（平成29年）10月落慶。
- 本坊
- 書院
- 源平の庭
- 宝物館
- 三重塔 - 1984年（昭和59年）再建
- 寺務所
- 敦盛塚（首塚）
- 青葉殿
- 奥の院 - 本尊弘法大師
- 仁王門 - 源頼政が再建
- 唐門
- 亜細亜万神殿 - 2016年（平成28年）4月落慶

塔頭

- 正覚院 - 1938年（昭和13年）再建、本尊は愛染明王（西国愛染十七霊場第6番）。
- 桜寿院 - 本尊は阿弥陀如来。
- 蓮生院 - 1934年（昭和9年）再建、本尊は不動明王。院号は熊谷蓮生坊に因む。

護摩堂

大師堂

八角堂（経木供養所）

三重塔

奥の院

仁王門・龍華橋

唐門

敦盛塚（首塚）

義経腰掛の松

源平の庭

正覚院

桜寿院

蓮生院

文化財

重要文化財（国指定）

- 木造十一面観音立像 - 南北朝時代
- 絹本著色普賢十羅刹女像 - 南北朝時代
- 本堂内宮殿（くうでん）及仏壇 - 南北朝時代（1368年）

その他の文化財

- 不動明王立像（県指定文化財） - 南北朝時代（1369年）
- 仁王像
- 石造十三重塔（県指定文化財） - 南北朝時代
- 鰐口（県指定文化財） - 南北朝時代（1366年）
- 当山歴代古記録2巻（県指定文化財） - 南北朝時代～江戸時代中期
- 釣灯籠 - 南北朝時代・（1360年）
- 銅鐘（梵鐘） - 室町時代（1460年）
- 平敦盛像 - 熊谷蓮生坊 作
- 平敦盛出陣の像 - 狩野安信 筆
- 平敦盛像 - 狩野久蔵 筆
- 青葉の笛 - 伝・平敦盛 愛用

札所

真言宗十八本山
1 善通寺 -- **2 須磨寺** -- 3 清荒神清澄寺
新西国三十三箇所
23 能福寺 -- **24 須磨寺** -- 25 太山寺
摂津国八十八箇所
87 勝福寺 -- **88 須磨寺**
摂津国三十三箇所
6 大龍寺 -- **7 須磨寺** -- 8 勝福寺
福原西国三十三箇所
6 浄徳寺 -- **7 須磨寺** -- 8 勝福寺
神戸十三仏霊場
10 多聞寺 -- **11 須磨寺** -- 12 無動寺
神戸七福神 福禄寿尊
神戸六地蔵
6 西光寺 -- **客番 須磨寺**
神仏霊場巡拝の道
71 長田神社 -- **72 須磨寺** -- 73 海神社

周辺情報

平重衡捕らわれの遺跡

須磨霊泉

現光寺

松風村雨堂

- 平重衡とらわれの遺跡

  腰掛の松もあった場所だが現在は遺跡のみ（商店街の妨げのため切られる）

- 須磨霊泉

- 現光寺（源氏寺）
- 関守稲荷神社
- 松風村雨堂
- 須磨離宮公園

所在地

- 〒654－0071 兵庫県神戸市須磨区須磨寺町

交通アクセス

- 山陽電鉄 須磨寺駅 徒歩5分
- JR 須磨駅 徒歩12分

備考

本寺は由緒と関わらず、B級スポットとして紹介されることが多い。 また、本寺前の民宿には夏の高校野球選手権大会において各地の代表チームの宿泊所として使用されている民宿が多いことでも知られる。

青葉の笛を詠んだ芭蕉だが、実際に拝観料を払って見たかという点は定かではない[2]。

脚注

1. ^ *a b c* 須磨観光協会 - 歴史を知る (http://www.suma-kankokyokai.gr.jp/modules/gnavi/index.php?cid=10&page=category)
2. ^ “芭蕉も渋った？　敦盛の笛「高すぎる拝観料」現代では無料に (https://www.kobe-np.co.jp/news/kobe/201906/0012384156.shtml)”. 神戸新聞NEXT (2019年6月1日). 2019年6月1日閲覧。

関連項目

- 平敦盛
- 熊谷直実
- 一ノ谷の戦い
- 一谷嫩軍記
- 須磨琴
- 山本周五郎
- 尾崎放哉
- 淀川長治
- 会下山
- 源氏物語
- 日本の寺院一覧

- 日本の寺の画像一覧

外部リンク

- 大本山　須磨寺 (http://www.sumadera.or.jp/)
- 須磨寺で公開されている「笑い仏」 (http://www.monk-forum.org/index.php/1-5)
- ウィキメディア・コモンズには、**須磨寺 (https://commons.wikimedia.org/wiki/Category:Sumadera?uselang=ja)**に関するカテゴリがあります。

「https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=須磨寺&oldid=74831855」から取得

最終更新 2019年10月31日 (木) 04:45 （日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。